

PRODUCT LOOK BOOK



CAC IDENTITY



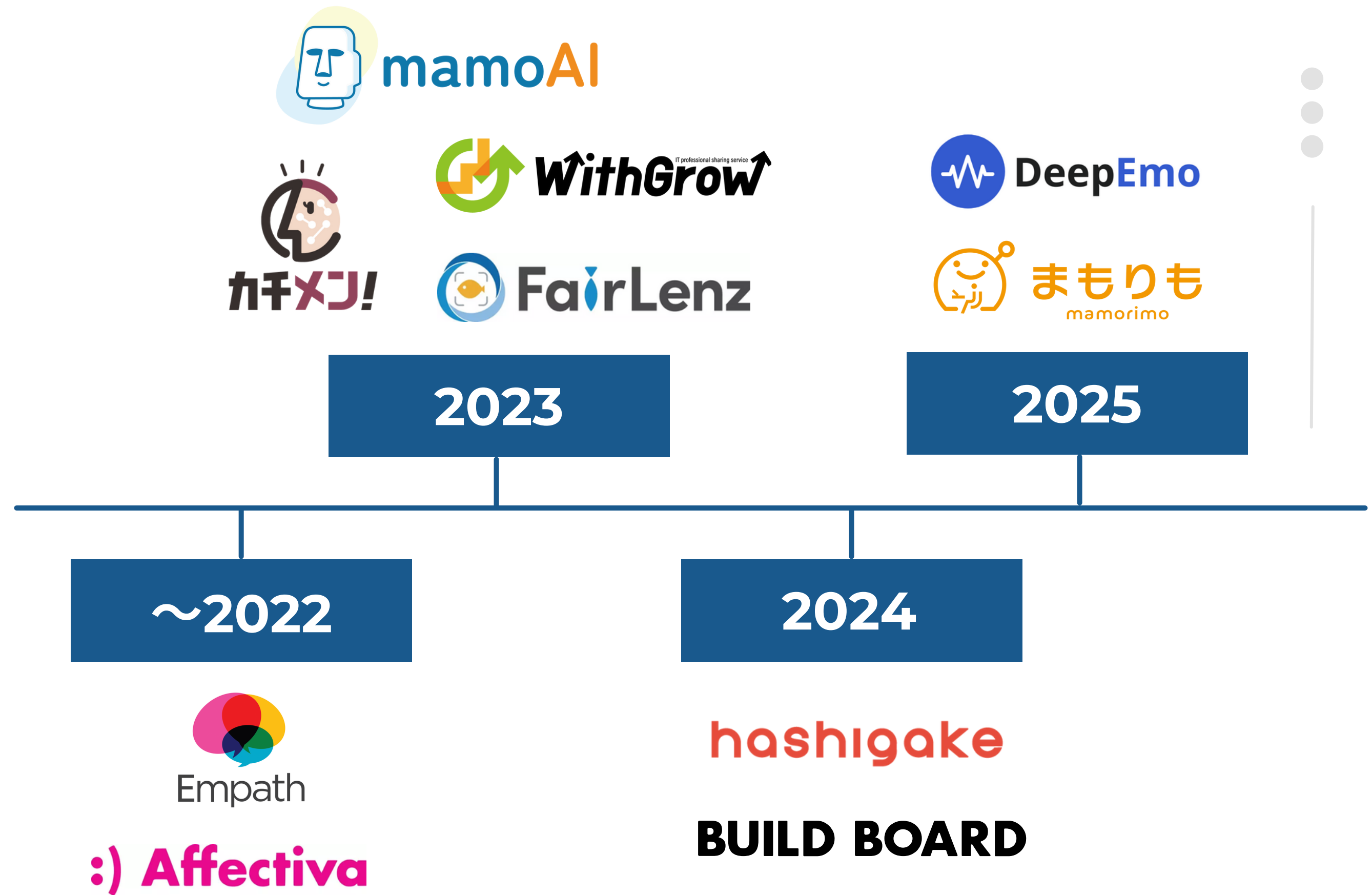
さあ、仕掛けよう。

Let's make an **i**mpact.

CAC Vision 2030：テクノロジーとアイデアで、
社会にポジティブなインパクトを与え続ける企業グループへ

株式会社CAC identity では、
社会にポジティブなインパクトを与える
プロダクトやサービスを開発し続けています。

Timeline



:) Afectiva

表情・感情認識AIが 人間の表情を分析

世界最大級の顔画像データベースと
FACS理論に基づく表情分析で感情を可視化する

表情感情認識AI「Affdex（アフデックス）」は、マサチューセッツ工科大学メディアラボから独立したAfectiva社が開発。顔の筋肉のわずかな動きを捉え、表情や感情をデータ化・分析します。

 <https://www.affectiva.jp/>  affectiva@cac.co.jp



私、松本がご提案します

1 『Affdex』 プロダクトオーナー就任までの背景

『Affdex』は米Affectiva社が開発した感情認識AIで、顔画像データを分析し感情を高精度に読み取ります。CACは2016年より日本での販売を開始。私は非接触型プロダクト「リズミル」での経験を活かし、2024年にAffdexのプロダクトオーナーに就任しました。

2 企業は感情認識AIをどう活かせるのか

当社は『Affdex SDK』の日本・中国でのセールスと、感情分析アプリ『心sensor』を提供中。Affdex SDKは製品の新規開発や機能強化を目指す企業に好評。心sensorはリアルタイムに動画の分析が可能で、大学や研究機関にも活用され、ビール消費者の選択行動研究にも応用されています。

3 社会とビジネスにもたらす価値を最大化したい

『Affdex』は多様なシーンで活用可能な感情認識AIです。今後は表情だけでなく動作や音声の分析技術も発展し、社会インフラの重要な要素となるでしょう。感情認識AIの価値を最大化するために尽力していこうと思います。

[インタビュー
記事はこちら](#)



Affdex
プロダクトオーナー

松本 豊

BUILD BOARD

搬入日程調整ツール

工事現場での搬入調整を
いつでもどこでも

工事現場ごとにweb上でカレンダーを作成できます。
PCでもスマートフォンでも、工事現場の搬入日程調整ができる
ツールです。



 <https://build-board.com/>  build-board@cac.co.jp

私、明石がご提案します

BUILD BOARD

1 工事管理者はもちろん、現場の人を楽にする

BUILD BOARDは、建設業界のDXを工事管理者から現場作業者にも広げます。特に日程変更が多い搬出入に着目し、関係する数十社が共有できるWebスケジューラーを提供。現場の連携を強化し、作業の効率化を実現します。

2 想定を超える良い反響

BUILD BOARDは、建設現場の搬出入調整のために開発されましたが、想定していた都市部の建設現場はもちろん、地方のハウスメーカーや大手プラント建設企業でも好評を得ています。課題が共通するなら広く活用可能です。

3 世になかったものを作り喜ばれる快感を何度でも

新規事業の醍醐味は、世になかったものを生み出し、現場をより良く変えられることです。SaaSアプリもその手段の一つ。本質は変化を生み出すことです。新規事業には仮説の誤り、開発トラブル、地道な社内調整、いろいろな苦難があります。成功は保証されませんが、挑戦すればリアルな世界を変えられる可能性があり、私はその過程を楽しむようにしています。



BUILD BOARD
プロダクトオーナー
(建設領域統括)

明石 衛

[インタビュー
記事はこちら](#)

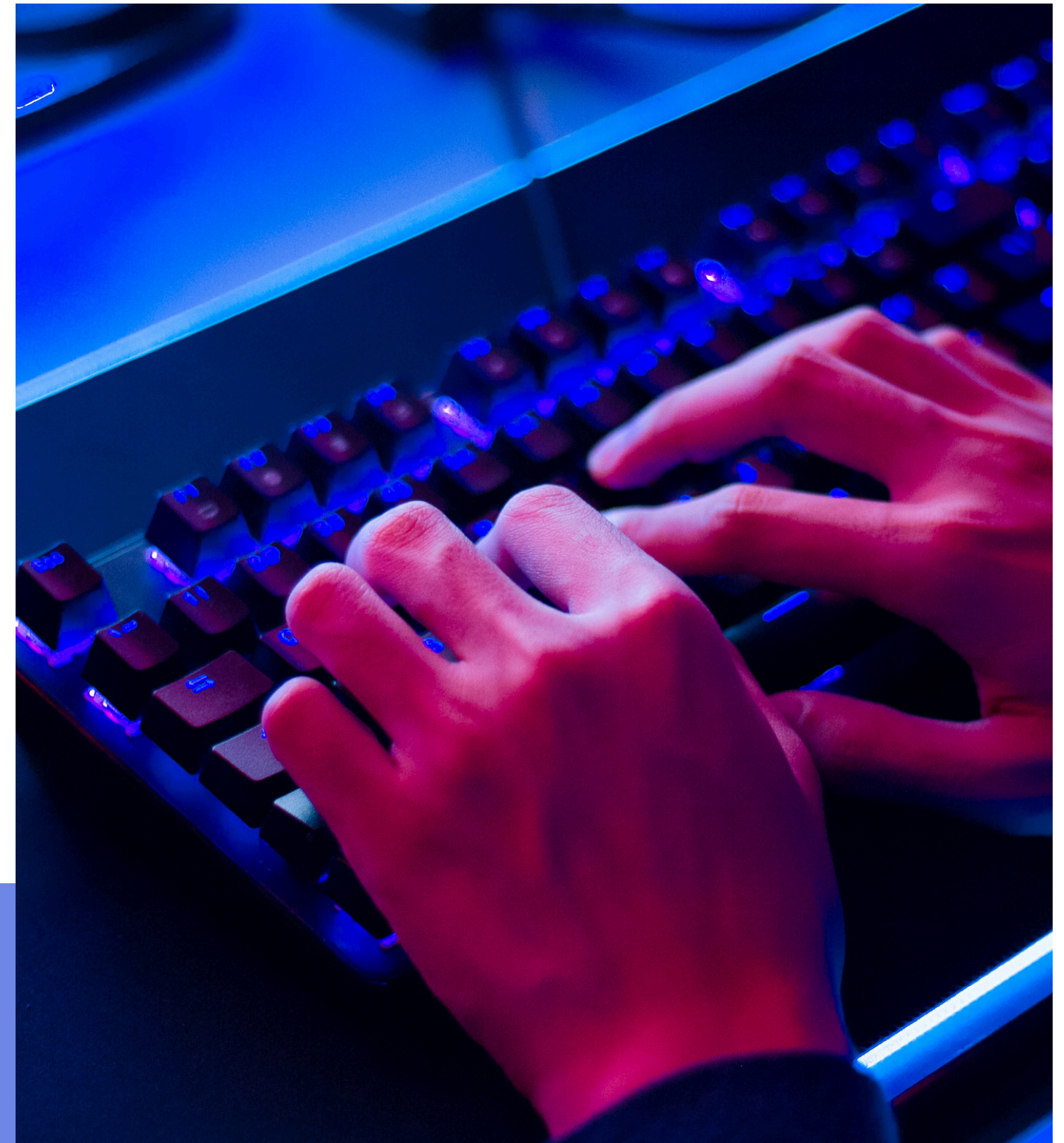




音声感情解析AIを活用した 3Dキャラクターアニメーション 制作支援サービス

DeepEmoは、声優の台詞音声から0.32秒ごとの感情を解析し、3Dキャラクターの表情を自動生成する技術です。アニメーターが手作業で行う表情調整やリップシンクを効率化し、制作コストを低減することが可能です。

 deepemo_info@cac.co.jp



私、中村がご提案します



1 DeepEmoの開発と再生の経緯

『DeepEmo』のルーツは『Empath』です。Empathはコールセンターでの活用が多いのですが、ゲーム会社からの要請で表情アニメーション制作に応用、工数95%削減に成功しました。その後、一時休止しましたが、2024年、私がプロダクトオーナーとなり市場調査と販売体制の整備を再開しました。

2 改めて感じるゲームの魅力

ゲーム開発者の熱意と技術に触れ、より深くゲームを楽しむようになりました。自然な感情になる表情、目線や瞬きの作り方。モブキャラの配置さえ緻密です。バックパッカーとして旅した際、言葉が通じずともゲームでつながる瞬間があり、世界に開発者の熱意と技術が届いていることに改めて感動します。

3 DeepEmoで人の心が動くコンテンツを

AIの発展で人の余暇が増えるという見方があります。そうすると人は文化や芸術、エンターテインメントにもっと時間を費やすでしょう。そういう時代が来た時、『DeepEmo』やCACの感情AIで人の心が動くコンテンツをたくさん生み出せたらいいと考えています。

[インタビュー
記事はこちら](#)



DeepEmo
プロダクトオーナー

中村 星斗

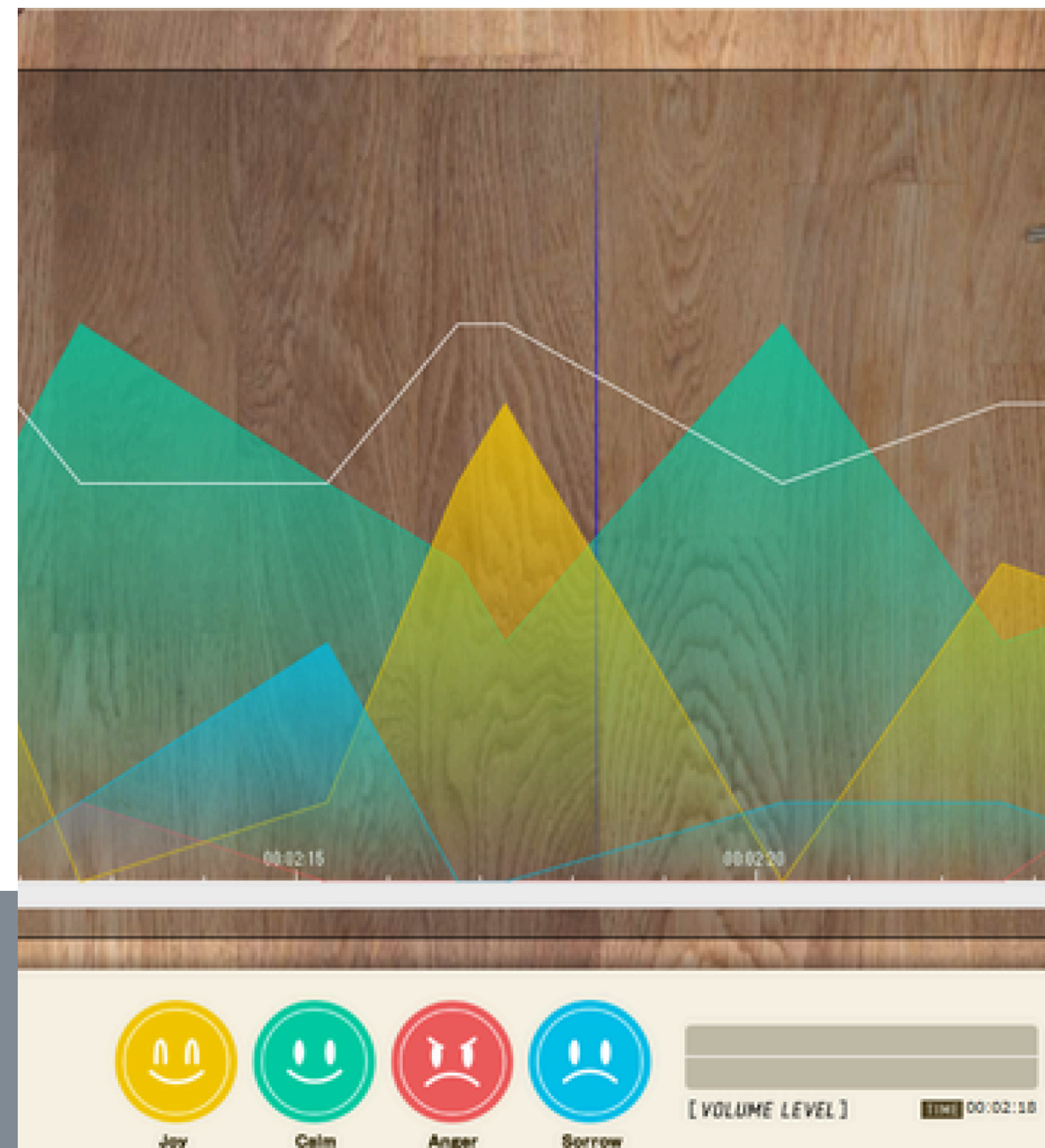


Empath

世界50か国 4,300以上の
開発チームが利用している
世界規模の感情解析AI

Empathは、音声の物理的な特徴量から気分の状態を独自のアルゴリズムで判定するプログラムです。数万人の音声データベースを元に喜怒哀楽や気分の浮き沈みを判定します。

 <https://webempath.com/>  empath@cac.co.jp



私、下地がご提案します

1 世界50カ国で使われる音声感情解析AI『Empath』

『Empath』は声のスピードやトーンから5つの感情を解析します。コールセンターのオペレーターのメンタルケアや離職防止、カスタマーハラスメント対策にも活用されています。また、マイクデバイスへの組み込みや、モビリティ、ゲーム分野など世界50か国の幅広い分野で応用されています。

2 CACに『Empath』事業を譲渡するまで

『Empath』は、医療ヘルスケア領域で立ち上げたメンタルヘルス向けのITサービスでした。商用化後、注目を集め、2017年に株式会社Empathを創業。その後、事業譲渡により2023年にCACへ移籍しました。

3 生成AIと伴走してより豊かなユーザー体験を

『Empath』は日本語音声の解析精度が高く、クラウド型APIで利用できます。また私たちには音声の意図を解釈したり、経験からその活用方法を提案できる強みがあります。音声UIにEmpathの感情解析AIを組み込むことで、より深く豊かなユーザー体験が実現できると確信しています。

[インタビュー
記事はこちら](#)



Empath

感情解析事業推進室 室長
Empathプロダクトオーナー
下地 貴明





養殖DX 漁業FinTech 地方創生

AIと金融の力で地方創生に挑む

FairLenzは、スマート養殖と金融サービスが一体となった、養殖業向けのABL（動産担保融資）プラットフォームです。スマート養殖を通して資源高騰や後継者不足などの課題に苦しむ水産業の再生・発展に寄与するとともに、魚そのものを動産担保として、養殖業の成長資金の調達をご支援します。

 fairlenz@cac.co.jp



私、井場がご提案します



1 「生簀の魚」を「資産」に変えるアイデア

地方特有の経営課題に対応するため、AIを活用した漁業FinTech『FairLenz』が誕生しました。特に養殖業は評価対象資産がなく、資金調達が困難ですが、水中カメラとAIを用いて生け簀内の魚の価値を算出し、資産化することで解決を図ります。

2 初体験！自然相手の難しさ

『FairLenz』は養殖業者や金融機関から期待される一方、実証には多くの困難がありました。潮の影響を受ける養殖場での機器設置や、大雨による実証実験の遅れなど、自然の厳しさを実感。それでも困難を乗り越えることで新たな価値あるビジネスが生まれると確信できるところまでできました。

3 将来は「養殖業の未来」を照らすプラットフォームに

『FairLenz』が養殖業を変えると関係者から期待されており、大きな手ごたえを感じています。今後も機能を追加し、完成度の向上、ビジネスモデルの確立を目指します。最終目標は後継者不足の解消。FairLenzが養殖業の魅力を高め、従事者が増えることで地域創生にもつなげたいと考えています。

[インタビュー
記事はこちら](#)



FairLenz
プロダクトオーナー

井場 辰彦

hashigake

知り合いから仲間へ
攻めの受け身型
ランダム1on1サービス



hashigakeは1on1コミュニケーションで組織を強くするサービスです。初めての相手や久しぶりの相手、役職や年代を超えた相手との間で質の高いコミュニケーション機会を自然な形で創出します。

 <https://hashigake.jp/>  hashigake@cac.co.jp



私、平井がご提案します

1 『hashigake』で上下関係なしのランダム1on1を

『hashigake』は社員同士の1on1を作り出すサービスです。タテヨコナメのコミュニケーションを自然な形で促進します。コロナ禍で増えたりモートワークに伴うコミュニケーション不足の解決策として企画されました。

2 ネガティブ反応がトライアルで好転

初対面の人と話すのに不安があった社員も、トライアル後に約3分の2が好意的な反応に変わりました。特に普段少人数との交流しかない社員には新鮮だったようです。新しい接点が業務に役立ち、会社への帰属意識が高まるなどの好反応も多数寄せられました。

3 『hashigake』からイノベーションを巻き起こす

社員同士の関係を深める手段として、企業の定番のサービスを目指しています。5年後、10年後にはhashigakeで企業と企業、企業と社会のつながりがオートメーション化され、コミュニケーションからイノベーションが巻き起こる、そんな世界の実現を目指しています。

[インタビュー
記事はこちら](#)



hashigake



hashigake
プロダクトオーナー

平井 健太郎



新・面接対策専用アプリ「カチメン！」

内定率100%※を誇る講師と世界トップクラスの表情分析AIで、いつでもスキマ時間に本格的な面接の練習ができるサービスです。

面接のニガテを、あなたの自信に

※対象者：受講生のうち特定のコースを受講し指定の授業頻度でご参加された方

最新の感情認識AIと就活のプロ講師のコラボで、面接から解放されたい就活生や転職者の面接対策を支援します。スマホにインストールするだけで「いつでも、どこでも、なんどでも」練習できる。それがカチメン！です。



 <https://kachimen.jp/>

 kachimen@cac.co.jp

私、丹治がご提案します

1 『Affdex』プロダクトオーナー就任までの背景

2017年からAI＆ロボティクス部門で感情認識AI事業に携わり、2022年に新規事業開発本部へ異動。表情や感情の利用に関するニーズ調査を繰り返し、就活・転職支援サービス『カチメン！』を立ち上げました。現在はプロダクトオーナーとして開発・営業・PRを統括しています。

2 どのような面接対策・改善が行えるのか

就活生の「表情が固まる」「印象が伝わらない」といった悩みに応え、録画と分析で改善点を提示する仕組みを開発。専門家のアドバイスも得ることができ、表情や話し方の練習が可能です。第一印象が重視される新卒面接で、大きな武器となります。

3 『カチメン！』を就活・転職の“鉄板”アプリに

『カチメン！』を就活・転職者の定番アプリにするべくPRを強化中。利用者からは「分析が正確」「アドバイスが有益」と好評です。まずは多くの人に使ってもらい、就活・転職の“鉄板”のアプリになることを目指しています。

[インタビュー
記事はこちら](#)



カチメン！
プロダクトオーナー
丹治 由佳



AIを活用し、 転倒転落から 利用者と患者を守る

転倒や転落に影響する姿勢を検知するため、
転倒転落を未然に防ぎ、再発対策検討に活用できます。

転倒検知システム「まもあい（mamoi AI）」は、AIが転倒や転落に
繋がりやすい姿勢を検知。対象者の画像とともにアラームでお知ら
せします。事故を未然に防げるため、病院や介護施設といった現場
の安心・安全、そして業務生産性の向上に貢献します。



 <https://mamoi.jp/>  mamoi@cac.co.jp

私、ジョイスがご提案します

1 『まもあい』で既存システムの課題を解決する

従来の見守りシステムは誤検知や転倒してしまった後のアラートが課題でした。『まもあい』はAIで人の動きを解析し、転倒の危険を事前に検知。スタッフへ迅速に通知し、医療・介護現場での事故防止をサポートします。

2 AI開発の紆余曲折

AI開発は地道な作業でした。1つの姿勢に約3000～4000枚の画像が必要で、社員や病院スタッフが転ぶ動作を繰り返し撮影。エンジニアの要望に応じて追加撮影を行い、多くの協力と検証の末、実用に十分な精度を達成しました。

3 社会とビジネスにもたらす価値を最大化したい

マレーシア出身の私は、祖国では高齢化や介護の課題を意識することは少なかったのですが、日本に来てその深刻さを実感しました。日本が直面する高齢化問題は、いずれ世界全体の課題となるはずです。私は『まもあい』を日本の医療・介護現場にとどめることなく、世界の高齢化社会の課題解決にも貢献させていきたいと考えています。

[インタビュー
記事はこちら](#)



まもあい (mamoAI)
プロダクトオーナー
ジョイス・ファム





まもりも

mamorimo

在宅勤務の見守りAI

まもりもが

リモートワークの推進と

受託業務の拡大に貢献します

『まもりも』はAIが在宅勤務環境を見守り、第三者によるなりすましや画面の盗撮などのインシデントを検知、機密情報を守ります。コールセンターなど様々な企業の在宅勤務移行を推進できるサービスです。



<https://mamorimo.jp/>



mamorimo@cac.co.jp



私、平山がご提案します

1 『まもりも』は見張るのではなく見守る

『まもりも』は、AIがPCカメラ映像を分析し、なりすましや覗き見を検知し画面を自動ロック、機密情報を保護します。機密情報の保護をAIで担保し、安心して業務を委託できる、守られて在宅勤務ができるようにしたのが特徴です。

2 『まもりも』一名前とロゴに込めた思い

『まもりも』は見守り機能を加えることで在宅でも様々な業務委託が可能になるようにという思いで名付けました。「見守り」と「リモート」を掛けています。ロゴはロボットが在宅ワーカーを優しく包み込む姿を表現しています。

3 “三方良し”のプロダクト

『まもりも』は手つかずだった在宅勤務環境のセキュリティに対応するサービスです。業務代行するBPO事業者は在宅勤務を推進しやすくなり、採用率向上や離職率低下が期待できます。クライアント企業は安心して業務を委託でき、ワーカーはライフイベントで強いられていた離職・休職を回避可能に。三者にメリットのある“三方良し”のプロダクトです。



まもりも (mamorimo)
プロダクトオーナー
平山 智隆





ITの力で 企業も個人も成長し続ける

プロフェッショナルIT人材による
「課題解決型伴走支援サービス」

WithGrowは、ITプロ人材のシェアリングによって、中小企業のIT・デジタル活用の高度化を支援し、成長を後押しするサービスです。CACで経験を積んだコーディネータとハイスキルなITプロ人材がチームを組み、中小企業のパートナーとして、ご支援します。



<https://withgrow.jp/>



withgrow@cac.co.jp



私、定清がご提案します

1 確度の高いITプロ人材をマッチさせる『WithGrow』

『WithGrow』は、フリーランスや副業人材の力を活かし、中小企業のIT・DX課題を解決するサービスです。人材エージェントのように見えますが、SI企業であるCACが仲介し、的確なマッチングを実現する点が特長です。

2 日本全体の底上げを目指すなら中小企業支援を

『WithGrow』は、発案者のアイデアを引き継ぎ、現在は私が事業責任者として推進しています。日本企業の大半を占める中小企業のDX化は、国全体の成長に不可欠です。研究者時代から全体の底上げということに魅力を感じて、国全体のDXを底上できるWithGrowの取り組みには強いやりがいを感じています。

3 DXに躊躇している中小企業の力になりたい

多くの中小企業がIT化やDX化を検討しつつも進められていません。

『WithGrow』はその第一歩を支援し、ITプロ人材が伴走しながら自走できる環境を構築します。自走する企業が増えれば、日本全体の生産性向上にも貢献できると考えています。



Withgrow事業推進室 室長

定清 奨

[インタビュー
記事はこちら](#)



Get in Touch

いっしょに、社会へのポジティブな
インパクトを作りましょう



株式会社CAC identity



東京都中央区日本橋箱崎町24番1号 17F/10F



<https://www.cacidentity.com/>



本資料は、著作物であり著作権法により保護されています。

また、本資料には、当社のノウハウおよび営業秘密が含まれている場合があります。

当社による事前の許可なく、本資料のいかなる部分も、無断複製・第三者への開示・二次使用・転載・転用することを禁じます。

本資料に記載されている会社名商品名等には、各社の商標または登録商標が含まれています。